

令和5年度警察費当初予算（案）の特徴

【基本的な考え方】

新型コロナウイルス感染症の影響は未だ不透明であり、地域住民が不安を抱く状況において、「安全・安心の拠り所となる警察施設の整備」、「交通安全施設の整備」など安心感を高める事業を中心に、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けた予算案とした。

	令和5年度 当初予算（案）	令和4年度 当初予算	対前年度比較	
			増減額	比率
人件費	1,686億3,410万円	1,694億829万円	△7億7,419万円	△0.5%
物件費	340億8,255万円	286億7,430万円	54億825万円	18.9%
警察施設整備費	37億1,473万円	16億7,039万円	20億4,434万円	122.4%
交通安全施設整備費	50億6,481万円	50億543万円	5,938万円	1.2%
その他物件費	253億301万円	219億9,848万円	33億453万円	15.0%
合計	2,027億1,665万円	1,980億8,259万円	46億3,406万円	2.3%

柱／主な施策等／主な事業名	予算額	事業内容等
安全で安心して暮らせる地域社会の実現		
人件費	1,686億3,410万円	警察職員の人件費 警察官 15,703人（増減なし） 一般職員 1,710人（+8人）
給与費（警察本部費）		
会計年度任用職員報酬等（警察本部費）		
警察施設整備費	37億1,473万円	警察署等の施設を整備するための経費 ・津久井警察署：3か年工事3年目 ・ヘリコプター格納庫新築工事 ・交番等新築工事（交番11、駐在所8） ・多摩警察署狭隘化等解消改修工事
津久井警察署新築工事費		
ヘリコプター格納庫新築工事費		
民間活力導入型交番新築工事費（令和5年度建替）		
(新) 多摩警察署改修工事費		
警察活動基盤の維持	134億1,708万円	警察活動の維持運営に要する経費 ・警察本部庁舎リニューアルコンサルティング委託
(新) 警察本部庁舎リニューアル推進費		
県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙	16億7,566万円	犯罪の抑止、街頭活動及び検挙活動強化のための経費
犯罪鑑識捜査活動費		
人身安全関連事案への的確な対処	4,045万円	DVやストーカー対策等の人身安全関連事案に対処するための経費
生活安全警察費		
交通事故防止対策の推進	119億6,240万円	・交通安全施設の整備など交通事故を防止するための経費 ・運転免許業務の先端技術の導入や高齢運転者への支援に要する経費
交通安全施設整備費		
運転者管理システム再構築事業費		
テロ等に対する警備諸対策の強化	6,388万円	有事における警察活動及び総合的な指揮を円滑に推進するための経費
一般警察活動関係費		
大規模災害総合対策の強化	6,078万円	激甚化・頻発化する大規模災害等に対応するための訓練や資機材整備に要する経費
災害対策資機材整備費		
サイバー空間の脅威に対する対策の推進	2,404万円	サイバー空間における犯罪に対処するため、人的及び物的基盤を強化する経費
サイバー犯罪対策費		
特殊詐欺を始めとした組織犯罪への対策の強化	1億9,623万円	犯罪組織対策を強力に推進し、犯罪インフラ等を撲滅するための経費
特殊詐欺被害防止対策推進事業費		
少年の非行防止・保護対策の推進	3,738万円	少年の非行防止及び保護に係る対策を強力に推進するための経費
少年警察費		
県民の安心感を高める地域警察活動の推進	28億8,988万円	地域警察官等の街頭活動を強化するための経費
アクティブ交番整備費		